

第 1 1 回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

1	日時	平成27年3月26日(木) 午後2時～午後3時30分	
2	場所	蒲郡市役所 本館 303会議室	
3	出席者	委員	愛知工科大学自動車短期大学自動車工業学科教授 橋本孝明
		委員	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 松本幸正
		委員	愛知運輸支局 後藤英丸
		委員	愛知県交通対策課 古橋昭
			(代理 磯谷隆幸)
		委員	総代連合会会長 大場克海
		委員	総代連合会副会長 成瀬正明
		委員	総代連合会副会長 天野忠則
		委員	形原地区公共交通協議会 壁谷権一郎
		委員	蒲郡市身体障害者福祉協会 原田ます子
		委員	蒲郡市老人クラブ連合会 市川紀子
		委員	蒲郡市社会福祉協議会 金原久雄
		委員	蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 林明子
		委員	蒲郡商工会議所 小池高弘
			(代理 佐藤康彦)
		委員	蒲郡市観光協会 杉山和弘
			(代理 遠山憲章)
		委員	名鉄バス東部株式会社 富田尚之
			(代理 加藤紀幸)
		委員	豊鉄タクシー株式会社 小川健司
			(代理 佐野達郎)
		委員	株式会社かねー自動車 石田悦司
		委員	公益社団法人愛知県バス協会 古田寛 (欠席)
		委員	愛知県タクシー協会 山田透 (欠席)
		委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 大久保彰
			(代理 白井淳)
		委員	愛知県蒲郡警察署 中野義久
		委員	東三河建設事務所 大谷光司 (欠席)
		委員	蒲郡市長 稲葉正吉
		委員	蒲郡市総務部長 井澤勝明
		委員	蒲郡市企画部長 大原義文
			(代理 飯島伸幸)
		委員	蒲郡市市民福祉部長 鈴木富次
		委員	蒲郡市建設部長 野澤伸天

委員 蒲郡市産業環境部長

荒島祐子

委員 蒲郡市都市開発部長

壁谷仁輔

(代理 神谷時康)

事務局 蒲郡市安全安心課長

藤川弘行

蒲郡市安全安心課長補佐

竹下暁

蒲郡市安全安心課主事

足立昌平

連携計画推進事業受託事業者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 1名

4 傍聴人 1人

5 議題

(1) あいさつ

6 協議事項

(1) 平成27年度蒲郡市地域公共交通会議事業計画書(案)について・・・【資料1】

(2) 平成27年度蒲郡市地域公共交通会議予算書(案)について・・・【資料2】

(3) 生活交通確保維持改善計画(旧・生活交通ネットワーク計画)案について・・・【資料3】

7 報告事項

(1) 形原地区支線バスに係る報告事項について・・・【資料4】

(2) 路線バスに係る報告事項について・・・【資料5】

8 その他

(1) 蒲郡市地域公共交通会議設置要綱等の一部改正について・・・【資料6】

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 開始時点で出席委員が25名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び連携計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

蒲郡市長、稲葉正吉より、形原地区の運行事業、路線バスの再編については、4月から実施される。蒲郡市にとって初めての対応である。実施するだけでなく、27年度事業にあるように評価、見直しに取組みたい。公共交通については、まだ解決すべき課題が残っている、都市インフラとしてますます重要だと考えている。今後も地域にあった検討が必要で、地域で守り、育てる試みができればと思う。本日の協議事項について、忌憚のない意見を頂戴するとともに、今後の事業に対するご協力、ご支援をお願いして、挨拶にかえさせていただく、とのあいさつがあった。

(3) 協議事項

ア 平成27年度蒲郡市地域公共交通会議事業計画書（案）について

- ・ 事務局より資料1に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

〔質 疑〕

（委 員）

- ・ 事業計画については、確実な実施をお願いしたい。
- ・ 事業の1番、試験運行のモニタリングは大切な事項。特に、他地区への周知は大切である。連携計画でも、試験運行である形原地区の活動を他地区に広げていくということだったと思う。周知方法の考えがあれば教えて欲しい。
- ・ 次に、形原地区の皆さんをお願いしたい。他に周知してやる気になってもらうには、形原地区のバスに乗ってもらっていることを情報発信できることが重要なので、積極的な利用をよろしくをお願いしたい。事務局には、事業の評価基準などがあれば教えて欲しい。

（事務局）

- ・ 他地区への周知について、山間部をはじめ空白地が残っている。春には、総代連合会総会があるので、今の取組を紹介しながら、質問を受け付けたい。加えて、こちらからのアプローチも考えている。
- ・ 評価基準について、他市の動向を参考にしたい。目安として収支率2割を目標とする考えもあると聞いている。

（委 員）

- ・ 評価基準について、収支率2割は、中部運輸局管内のコミュニティバス事業の平均値が23%と聞いているので、理解できる。大切なことは、乗っている量が重要だということだけでない。乗った人が元気になる、地域が活性化することが重要で、定量的に評価することは難しいが、地域の人が頑張っている状態を評価できるように検討を進めて欲しい。

イ 平成27年度蒲郡市地域公共交通会議予算書（案）について

- ・ 事務局より資料2に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

〔質 疑〕

（委 員）

- ・ 90万円の収入を計上している。運賃は大人100円、子供50円のため、大人だけなら9,000人の利用になる。乗客定員9人に対して、1便平均10人以上になる。子供も乗車するため、収入は減ってしまう。
- ・ 努力はさせていただくが、評価は収支率だけでなく、乗車人数も勘案して欲しい。

(事務局)

- ・ 乗車人数や運賃収入もあるが、先ほどの指摘の地域の頑張り指数等数値に表れない部分もある。総合的に検証していきたい。

(委員)

- ・ 予算書の90万円について、収入90万円、支出返納清算金90万円であるため、残念ながら運賃収入が集められなくても清算調整できる。高いハードルだが是非頑張ってもらいたい。

(委員)

- ・ 形原地区では、協賛金の議論も行っている。協賛金の確保には、条例化等の検討の必要性も聞いている。受入態勢を整理し、協賛金制度を導入して、収入に計上する評価を進めたい。

(事務局)

- ・ 運行開始するが9月末まで実証運行で、10月から広告収入や協賛金制度も導入していきたい。時刻表を全戸配布させていただいたが、停留所名にスーパー、病院名をつけており、広告料・協賛金を考えている。

ウ 生活交通確保維持改善計画（旧・生活交通ネットワーク計画）案について

- ・ 事務局より資料3に基づく説明が行われ、補助金要綱等が決まっていないため、詳細は事務局の方で、愛知運輸支局と調整を進めることで了承された。

[質疑]

(委員)

- ・ 事業の効果について、地域住民が主体となった公共交通協議会が組成され、利用促進についても当該組織が推進することを確認しているとあったが、地域主導だけでなく行政側の支援も必要なのでよろしくお願いしたい。

(事務局)

- ・ 形原地区はもとより、蒲郡市としても啓発・PRについて、ホームページ・広報・公民館だよりなどで利用の方法などを周知するなど、いろんな方法を通してサポートしていきたい。

(4) 報告事項

ア 形原地区支線バスに係る報告事項について

- ・ 事務局より資料4に基づいて報告が行われた。

[質疑]

イ 路線バスに係る報告事項について

- ・ 事務局より資料5に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

(委 員)

- ・ ラグーナ線について無料バスの運行により、路線バスから利用が転換してしまった。
- ・ そのため、ラグーナ線の直行便はなくし、その他は減便せざるを得ない。
- ・ 保健センター線は利用が少ないため廃止とさせていただいた。

(5) その他

ア 蒲郡市地域公共交通会議設置要綱等の一部改正について

- ・ 事務局より資料6に基づいて説明が行われた。

〔質 疑〕

イ その他

(事務局)

- ・ 次回の地域公共交通会議の開催は5月ごろを予定との連絡を行い会議は終了した。